

「遺伝子・染色体構築セミナー」を開催

2016年1月21日

1月21日（木）に、がん進展制御研究所4階会議室において、近畿大学医学部生化学教授の岡田 斉先生を招いて、遺伝子・染色体構築セミナーを開催しました。

セミナーでは「Attenuated DNA damage repair delays therapy-related myeloid neoplasms in mouse model」という演題で、DNA 損傷がいかに関与するのかなど、最新のデータを示し概説していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約 30 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われ、がんの理解のために大変貴重な機会となりました。



遺伝子・染色体構築研究分野セミナー

Attenuated DNA damage repair delays therapy-related myeloid neoplasms in mouse model

近畿大学医学部
生化学・教授

岡田 斉 先生

【日時】平成28年1月21日(木) 17:00~18:30

【場所】がん進展制御研究所 4F 会議室

岡田先生は、野田哲生研究室、Tak Mak 研究室を経て、Ontario Cancer Institute (Toronto) においてPIとして活躍された後、昨年、近畿大学医学部に教授として着任されました。「環境因子と細胞死・がん化」を主な研究テーマとして、細胞死やp53制御機構について精力的に研究を進めておられます (*Gene Dev.* 21:848-861 (2007), *J Cell Biol.* 182:449-458 (2008), *Cell death & dis.* 2:e236 (2011), *Nature Med.* 18:1394-400, (2012))。

本セミナーでは、最近研究を展開している「DNA損傷修復機構の修飾による発がん抵抗性」についてご紹介いただきます。皆様奮ってご参加ください。

連絡先：

平尾敦 (がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野 内線6756)